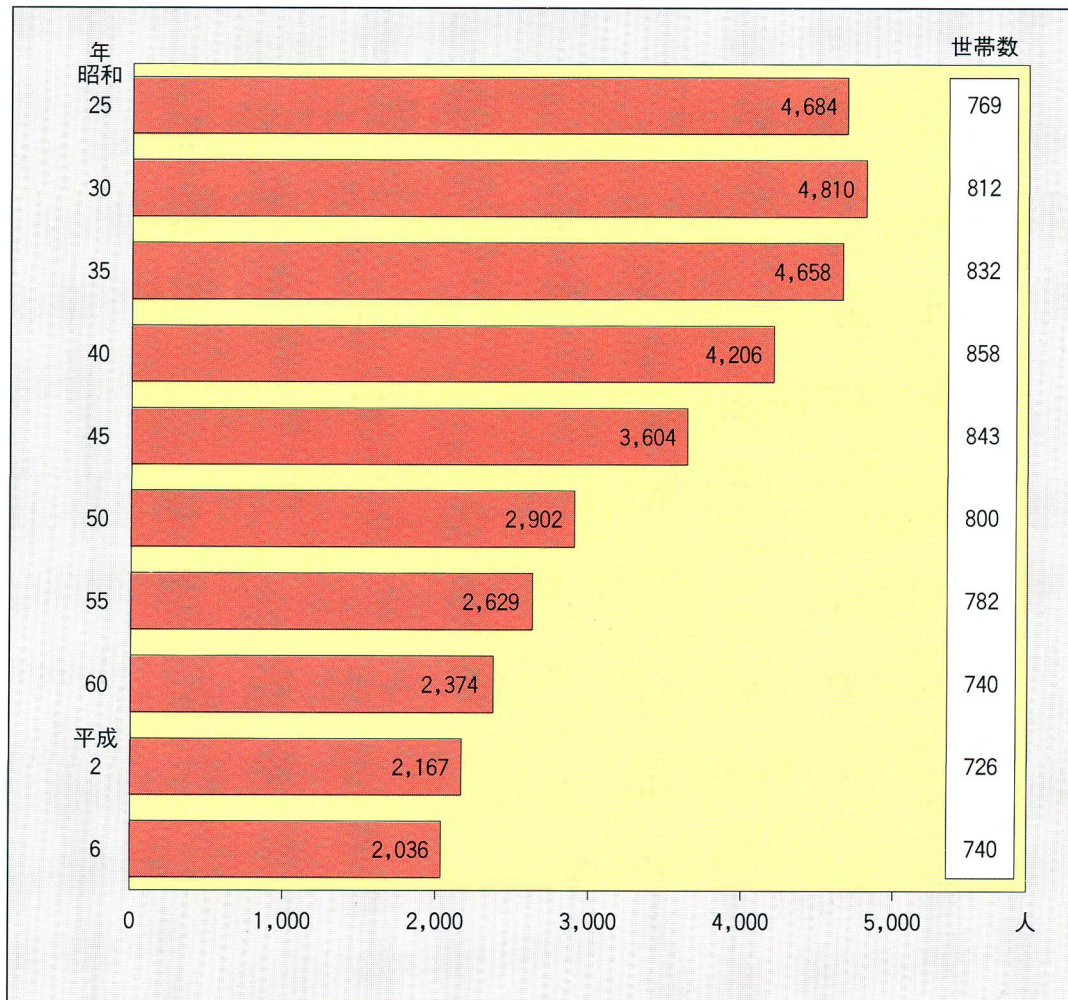


3. 村の人口と世帯数

昭和30年（1955年）の4,810人をピークに、その後昭和40年代にかけて若者の村外流出（高度成長による都市への集中）によって、村の人口は急激に減ってしまいました。現在でも少しずつ減っています。また、若者を中心とした働く人びと（生産人口、15歳～64歳）と幼年人口（0歳～14歳）が年々少なくなり、老年人口（65歳以上）が増えています。

人口と世帯数の移り変わり

（国勢調査）



（注）平成6年は、10月1日現在の現住人口・世帯数をしめす。